

刊夕日一卅月十

常警每日新聞

定価一圓五錢 月刊五拾錢 郵税五錢
 廣告料五號十二字第一行金五拾錢
 日曜祭日の翌日休刊
 發行所 常警毎日新聞社
 印刷所 常警毎日印刷株式會社

秋の横顔

K1 女

緑のまゝの木の葉、真紅に紅葉した枯葉、真黄い木の葉、紅い中に黄色くぼかした落葉、半分触れてしまつた葉、もみつぶされた葉、どの道歩いて木も葉が散つてゐる。

風に吹き寄せられて水溜りに浮んだり、むしり取られてゐたり、川の面を流れてゐたり、踏みじられてゐたりする。

私は梢に力一杯くついでる、力なげな病葉を見る、死の床に呻吟してゐながらもなほ生きやうとしてあせつてゐる病人を思ふ。道のうに轉んでゐる落葉を眺める時、逝つてしまつた人達を思ふ。その一つ／＼が誰かの魂の様に考へられて来る。私は一枚でもその葉を踏むのが濟まない

ノート

印度の婦人は白粉を使はな
 いその代り油を塗つてテ
 ラ／＼光らせる皮膚の色
 で化粧法も違ふわけだ

今お前は私を靴の下にふみにじつて笑つてゐる、然し同じ事だ、お前だつてか

うなるんだから。

枯葉の鳴る音がきこえる十一月の散歩はどうする

事も出来ない淋しさに私をひき入れてゆく。縁もゆかりもない人さへも今はたつた一枚の木の葉の様にしか考へられない。憎み合つて

【朝】味噌汁——若芽
 【晝】吉野煮 鰯
 【晚】ちりなべ——白
 菜 豆腐 白魚
 身 大根 ゆず
 だしこぶ

ある者も愛し合つてゐるものも皆同じなのだ。何故人間は罵り合ひ、憎み合ひ偽り合はねばならないのだから。大人の世間……之からの私達の生活と云ふものを考へる時……私は悲しくなる。

結局は木の葉の様に皆な同じ様に死んで逝くのだからしつかりと、どうして結び合へないのだらう。子供の頃、損得を抜きにした仲よしの頃がなつかしい。明日さへ分らない自分達の命であるものを……人を陥入れて自分を肥せようと頭を悩ますなんて……をの人達は恐らく自分の死



晩秋 岡 千津美

黙して静かに見たものは
 晩秋の光を投げられた銀のすゝきと
 わな／＼ける我が魂
 黙して！ 佗びしく
 眺むれば
 取残されたまひるの月に
 愁ひ深める十九の秋

御扱い開始

間の抜け 旭屋一六銀行
 通三丁目
 電四二五

内科科一般

金成醫院
 金成 忠義
 平鎌田町(電三五八)

有給外務員數名募集

一、廿五才以上 經驗の有無を不問男女數名
 一、固定給の外旅費支給す
 御希望の方は履歷書持參來談を乞ふ
 (明治十四年創立 保險の開祖)
 明治生命保險株式會社
 平 事務所
 所長 小野 康
 平・仲町

米國製劑皮膚病良藥
レメドール
 子宮あたゝめぐすり
宮温湯
 丹波博士創製セキドメ
たんぽあめ
靈藥ムテキ
 平町古銀治町一〇
阿康藥舖
 縣社ノ下 電 四四

紅葉狩は！ ぜひ錦水の
 折詰辨當を御供させて下さい
 多少に不拘出前迅速
 仕出し 専門 錦水
 電四五四

吸入用酸素純度99%
 度量衡器
 モノサシ 體溫計
 マス 寒暖計
 ハカリ
 秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス
關内藥局
 電話四〇番

今年も例年通り……
かまぼこ製造
お茶屋
 相はじめました何卒御用の程！
 平町一丁目
不孫寛
 電話一四一番

中等學校教員野球大會

一、日時 十一月三日(明治節)午前十時半
 一、場所 縣立磐城高等女學校々庭
 一、參加 磐中 磐女 平商 各校教職員
 一、方法 優勝旗爭覇軟式リーグ戦

主催 常磐毎日新聞社
 後援 磐陽野球聯盟
 同 平町軟式野球協會

凶作地救済に

「明日から着工」

二萬二千圓の改修割當

石城郡下に於ける冷害地救済土木事業施行打合せのために出福した小林平土木監督所長は昨三十日夜歸平したが出福の結果は縣でも救済の必要を認め國庫補助金を待たず速やかに施行することに決定石城郡へは左記の如く總額二萬二千六百圓の道路改修工事を割當られたので平土木監督所では既に設計作製も終了して居ることとなり一日も早く貧農救済の實を擧ぐべく直ちに明日から着工することとなつた、尙小林所長は縣に對し郡下凶作地は山間部のみに限らざるを以て平坦部と雖も凶作地には救済事業を施行せられたる旨懇談を重ねた結果縣でもその事情を認めたらしく近く何等かの方法で平坦部凶作地を救済

補充兵の現役編入

平町から入營

平町の今年度第 補充兵中現役に編入されて入營するものは三十一日左記諸君と決定された

(十二月一日入營)滿洲國 錦洲獨立歩兵六聯隊、鎌

高麗橋を中心として

眞木翁の懷古事談

三、廣小路方面

高い山が谷となり、想像以外の變り方

廣小路、それは今の裁判所前から、胡摩澤の坂上までの大通で、東の濠上には二三尺の水止の土手があつたが、今はそれがなく、子供時代より今日では、何んともなく幅が狭くなつた様に感ぜられもする、八幡小路

田町大友正良 三丁目久野銀三△滿洲國ハルビン關東軍鐵道三聯隊、八幡小路田村重一△仙臺聯重兵二聯隊、鷹庄町白鳥謹一(十二月十一日)朝鮮咸々木道典

青年團の驛傳が

本年中止と決定

既報平町青年團主催來月三日の各分團對抗驛傳競走に就いて昨卅日午後七時より九友ホールに於いて開かれた理事會は協議の結果出場チームが僅に一チームである爲め本年は中止となつた昨年八チームも出場して平町の人氣を呼んだだけに非常に惜まれて居る

海軍志願

一名の減少

平町に於ける今年度海軍志願兵は既報の如く昨年に比集團せる低地(其濠を包んで、杉平とは臺地続き、其坂を一寸降つた處から、壹間幅足らずの、杉平への通路があつて、其處に玉の門といふ門があつた、川前新道、地獄通(江田の手前)の難工事を完成して、玉の門の丘陵地、高麗門前の築道が打抜かれ、濠から濠へと長坂下まで道路となつたが玉の門の高い山は今反對に低い谷となり、茲に新たな形勢が展開せられ、想像も出來ぬ様に變つてしまつた。

常備消防

委員が協議

業時間を卅分遅延して午前八時三十分から始業に改めると

平町の常備消防隊設置案に就て既報の如く過般委員其他が先進地視察のため熊谷市方面へ出張したが來月二日午後一時から役場會議室に警備委員會を開き之が種々協議を遂げて具體案を樹立することになつた

けふの籠球

出場兒氏名

既報平三校の第三區兒童籠球大會は本日午後一時半より第一、第二兩コートに於て行はれたが平町の三小學校選手左の如くである

(第一校尋常科)新妻喜太郎 渡邊政之 和田壽一 吉田博 高木四郎 大畑俊夫 酒井精一 佐藤木

木炭検査打合せ

濱三郡木炭検査員打合せ會は來月四日午前十時から平町役場會議室で開く

植田武道大會

植田武徳分會第十回武道大會は來月四日午前八時から植田署演武道で開く

平町水道視察

山形縣本莊町長齊彌太郎氏、同町議池田力三郎氏外三町議は同町に於ける水道新設のため三十一日來平、平町水道施設狀況を視察した

鬼縣令の大英斷に

有志等が續々投獄

之は三島縣令のやつた仕事だが縣の歴史の頁から取除く事の出來ぬは、此縣令の土木工事で、當時縣内は到る處蜂の巢をついた様な騒ぎ、そして聊かでも言動の疑はしいものは、片端から謀反人として、警察へ引捕へられた、平からは自由黨の松本操、祭主次英、飯田一二(城山藥湯の先代が)國民黨の白井遠平氏などが禰島へ押送されたなど、と

三角關係の

悶えを鐵路に

洋服屋職人の汽車往生

昨三十日午後十一時三十一分平驛着常磐線下り旅客列車が平町稻荷山墜道入口に差しかけた際身を躍らして飛込み無惨の轢死を遂げた者あるを同所踏切番人が発見、届出により平署で検視した結果右は平町紺屋町一〇關洋服店關ハツ方職人柴田四郎(三三)と判明した原因は主人ハツが三年前夫と死別して空闊の淋しさにつけ入り關係を結び遂に四郎の崩を宿したが一方二世を契つた神奈川縣平塚市の某妓樓にゐる娼妓タケから近く年期が明けて歸郷するから晴れて添ふ日を待つて呉れと云つて来たところから此の三角關係の悶えを清算して覺悟の自殺を選んだものといはれてゐる

名墨一賞に蒐る

大津町の全國書道展
既報來月三、四の兩日茨城

ダン・道子さんから

寄せられた近況

来る四日夫君ジエムス・ダン氏の伴奏に依つて聲女音樂會に美しい獨唱を試みられるダン道子夫人は故村山鳥徑氏の愛嬢、父君村山氏は基督教の牧

師で話術の造詣深く新譜談を創始せる人として令名が高く、川崎本社長も在京時代には其の知遇を受けた關係から今度磐女としてのステージに就き

鳴鶴、梧竹、一六其他の名墨が出品され向石井參典官鐵道大臣茨城縣知事、地元六代議士水戸市會議長等の雄健なる作品もあると

林野事件

關係者が

歸宅許さる

赤井村第一林野保護組合の基本金横領事件で平署に留置取調べられてゐた前組合長宮内喜作氏は草野縣議、猪狩同村長の身柄引受けて昨三十日夕刻歸宅を許され

樂壇の寵兒

待たるゝ

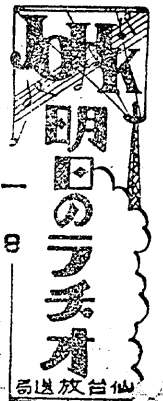
磐女の演奏會

ジエムスダン氏夫妻の

力演は四日

大繁忙の勞に酬ひられて豫想以外の大成功を納めた磐城高等女學校は更に秋の樂壇を飾るダン道子夫妻の獨唱とピアノ獨奏會が四日午後二時から櫻丘會主催で同講堂に華々しく開催されるのでその準備に追はれて

居るが同夫妻は本邦樂界の名星として萬都の讚仰を一身に蒐めつゝある斯界の寵兒！その來平は期して待つべきものあり、前人氣は非常なもので五十錢の入場券は櫻丘會員の奔走に依り飛ぶ様な賣行きを示して居る



明日のラジオ

今晚も明日も北西の風曇り天氣悪くなる

明日の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- 童話劇 チョビ助物語 B
- K子供サークル
- 後六、二五 基礎英語講座
- (二〇〇)岡倉由三郎
- 後七、三〇 京城より講演
- 「朝鮮と帝國の國防」朝鮮

- 軍司令官陸軍中將植田録
- 吉 〇〇 特輯演藝週刊
- 後八、〇〇 但謠 正調追
- 分節渡邊錦遊外
- 後八、一五 但謠 佐渡お
- けさ 村田文三
- 後八、二〇 但謠 博多節
- 秀外
- 後八、四〇 漫才 秋が來
- シヨパン曲 (ハンガリー)

震火災を豫想し

重要書類を搬出

來月五日の防火宣傳
平署が準備に努む

平署では漸く火災期に入つたので防火宣傳のため來月五日を期して管内全般に亘つて防火運動を実施することになつた。當日は管内主要地に 宣傳ポスターを掲示、午前六時、正午午後六時の三回に亘り警鐘を点打、管内六臺の自動車ポンプで宣傳ビラを撒布して防火宣傳を行ふとともに各公立學校、主要町村で講

今晚の部

- た來た 柳家雪江
- 後九、〇〇 長唄 榎猿松
- 永和風外
- 後九、三〇 時報ニユース
- 氣象通報 番組預告
- 前七、〇〇 基礎獨語講座
- 前七、三〇 神典講義「古事記」(一) 文學博士 植木直一
- 前八、〇〇 婦人の時間
- 「國際的立場より見たる社會改良」通譯生江孝之
- 後八、〇〇 管絃樂「日本俗曲」大阪ラヂオオーケ
- 狂想曲(二番)リスト曲
- 左の如く多數同好者の參會を觀迎すると
- 吉野夫人 生田敦盛 熊野 盛久 土蜘蛛 其の仙獨吟仕舞
- 後二、〇〇 日清戰役廣島大本營四十周年記念講演 海軍大將子爵 齊藤實
- 後六、〇〇 子供の時間 獨唱 望月誠外
- 後六、二五 英語講座(四の二) 舟橋雄
- 後七、三〇 講演 公爵 徳川家達
- 後八、〇〇 ラヂオ小説 東山千榮子
- 〇特輯演藝週刊第五夜
- 後八、四〇 歌謡曲喜代三
- 後九、〇〇 講談「澤村才八郎」大島伯鶴

第二書方出品

- 第二學校から來月十三、四の兩日双葉郡小高町に開催される全國書方講習會及び展覽會に出品すべき兒童は本日左記冊二名と決定した
- 草野トシ子 根本和子
 - 井上節子 鈴木智恵子
 - 廣邊義子 中野静子 太田二三子 酒井正子 矢田部富子 大嶺悦子 大和田キヨ子 五十嵐澄子 千葉恰子 馬目静 木田秀子 梅津吉子 酒井良子 鈴木スズ子 根本ツネ子 鳥海珠 關内義子 横山キミ子 廣邊昌子 青山住子 栗田ケイ子 近藤シヅ子 鈴木省子 石井美智子 小野文子 小菅イノ 大木豊子 小谷テル子

訓盲院同窓會

平町 磐城訓盲院は來月二十三日の創立記念日に恒例の同窓會總會を開く

觀世流研誼會

觀世流「研誼會」第八回素誼會は來月三日午後六時から平町五丁目吉田屋樓上で開番組

新進斬首頭

田邊南龍(作)
山本英春(監)

水死人は長兵衛
紛ふ方なき元締長兵衛
「ヤア、大變だ、親分がこ
んな姿になつて居る」
庵崎の小平が死骸に取り
付きまして歎く

一七二...
そこで小平権三を始めと
して一同の者が豫て用意の
喧嘩支度ソレ水野屋敷へ行
くと大勢押して行かうとし
た時に唐犬権兵衛が
「マア待ちな、親分の仇討
だから行くのは尤もだ、俺

おれもさう思つてゐる今日
死骸を取上げて、親分の死
骸を片付けねえ中に水野の
屋敷へ斬込むといつたら、
あんまりそれぢやア元締の
云ひ付けが届かねえやうだ
...
流石は頭立つた唐犬権
兵衛氣が付いた所は豪い、
直ぐにこれから變死の届を
出すと面倒でございますか
ら、病死いたしましたと云ふ届
けを出した、變死とは知れ
て居りますけれども、然し
其時分の事でございますか



「さては水野の屋敷へ行つ
たに相違ない、ソレ屋敷の
様子を聞け」
と云ふので人を以て水野
の様子を探ると隠すより現
るゝはなしとは此事でござ
います、長兵衛が屋敷へ參
つたと云ふ事が知れて、湯
殿で云々と云ふことが分り
ました。

始め行かなくちやアならね
えが、然し金神、俺の考へ
ぢやア此奴は對手は水野十
郎左衛門と知れて居るから
其様に急ぐことはねえぞ、
先づ親分の葬式をチャンと
済ましてそれから後でも宜
いぢやアねえか」

ら、乾分一同より元締長兵
衛病死いたしましたと届け
出でました、屋敷稼業をし
て居るものでございませ
ら諸大名でも之を聞濟にな
りまして、大層な支度をし
て浅草北清島町五臺山源空
寺へ葬りませした、會葬者は

同勢二千餘人といふこと大
した葬式でございます。
水野の方でも大方長兵衛
の乾分共が斬り込んで、
来るだらう、先づ其の用心
をして置けと門などを嚴重
にして置きました。三日
経つても五日経つても何事
もない(して見ると根が武
士と違つて屋敷稼業をいた
す町人のことであるから)
う仇討といふことはないか
知らん」と油断をしたのが
水野の誤りでした。
然るに皆が氣が付いたの
は、兄弟分の腕の喜三郎が
居ない、之は旗本と喧嘩を
した爲に又江田の仁兵衛の
やうな事があつてはならな
い、といふので長兵衛始め
兄弟分が勤めて旅へ出しま
した、その後大阪へ行つた
といふ便りはあつたが兎に
角此の事を喜三郎の處へ知
らしてやらなければならま
せん。

店主	か	店員
を連れ	れる	て行
正シ	イ	酒場
正シ	イ	喫茶
正シ	イ	食堂

平・田町
レントサロン
電二五三番

時計高
蓄音器橋
レコード時
眼鏡類
懐中電燈店計

平町播磨小路

一、歯科一般 保存科補綴科 繼續架
工科 齒列矯正科 小兒齒科 齒槽膿漏科
一、口腔外科 一、レントゲン科

中野齒科醫院

平町田町(松月堂向ヒ)
電話五〇九番

院長 日本齒科中野 惠次
醫學士 中野 誠
日本齒科西川 誠
醫學士 西川 誠

外科 内臓 外科

レントゲン線

醫學博士 諸橋 鐵彌
新川町二七 (電四六四)

◇備完室病◇

透明障子紙

意匠登録 第六三〇七八號

- ▼本品は室内用、室外用の二種あり
- ▼室内用は張方従来の通り生紙糊にてよろし
- ▼室外用は特に室外用ノリにて張ればよろし
- ▼本品は硝子、セルロイド以上の優秀點を具
- 備す
- ▼雨と風との神様が兩神一緒に暴れても室外
- 用は平氣なり
- ▼現品は普通障子紙巾にて(長さ九メートル)

◎定價
▼室内用 六十錢
▼室外用 八十錢

◎室外用ノリ 一罐 二十錢

平町四丁目
夕伊勢屋 阿部商店
電話四五番

◎賣弘め中粗景手拭一本呈上

味覺の秋!!

仙の干やなぎ

賣初めました

其他鯉節、鯉鹽辛、いか鹽辛
★ 鯉の子入荷致しました★

平町土橋
仙 鈴藏魚店
電話六六一番